



Koryo 陵 雲 High School

〒081-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077

https://koryo-high-school.com / Eメール koryo@chibagakuen.ac.jp

高総体1点差で惜敗



5月28日(土)、県高校総体サッカー競技が青森市スポーツ広場多目的グラウンドで行われた。時折晴れ間も見えたが暴風雨のなか行われた一回戦、本校は青森東高校に2対3で敗れた。前半、後半の立ち上がり得点を奪われた本校は、終始追いかける苦しい展開となった。後半、向陵らしいプレーで何度も相手ゴールを脅かしたが得点には繋がらなかった。試合終了後、応援席へと向かった部員たち。深々と頭を下げ、他の部員たちが立ち去った後も、顔をあげることができなかった部長の梅内君の姿が印象的だった。3年生にとって最後の高総体は終わり、気持ちを切り替え、部員たちの視線は次なる戦いへと向いている。

○5月28日(土) 向陵 2-3 青森東

〈得点〉3年 大下 徳美(名川中学校出身)

2年 徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身)

「人間とお金」講話



5月12日(木)、3・4校時の人間学・現代を生きるII「人間とお金」の授業で講演会を実施。株式会社Jスコーパーレシジョンより山本博貴さん(東京都)をお招きし、「お金とどうつきあうか」というお話を聞いた。山本さんは、講演を聞くにあたってメモを取るものの重要性や今後の学校生活でアウトプットをしていくことの大切さを呼びかけた。アウトプットとは、「話す」「書く」「教える」「行動する」等、外部に発信することを指す。特に、「挨拶」が一番分りやすく、漢字の意味から「自分を押し、相手に迫る」ように、自分の声が相手に届く挨拶すると良いと教えていただいた。その後、進学では主に学費について、就職では求人票の見方や保険について具体的な例を挙げて説明があった。



校内持久走大会



5月20日(金)、新井田川沿いを走る校内持久走大会が行われた。走ることを苦手としている生徒たちも多いが、中間試験後の行事ということもあり、皆、外での活動を楽しんでいるようだった。当日は天候にも恵まれ、クラスで揃えたTシャツに身を包み、参加者全員が完走した。

《女子の部》4km

1位 2年 磯沼 煌羽(湊中学校出身)

2位 3年 鈴木 篠(大館中学校出身)

3位 1年 櫻庭 琥珀(第二中学校出身)

4位 2年 関川 陽菜(白山台中学校出身)

5位 3年 伊藤みんと(白山台中学校出身)

6位 1年 下沢南々実(是川中学校出身)

《男子の部》6km

1位 2年 山家 昌悟(平塚市立土沢中学校出身)

2位 3年 久保市 稜(江陽中学校出身)

3位 1年 中村昊之輔(下長中学校出身)

4位 1年 大山 卓真(藤沢市立秋葉台中学校出身)

5位 1年 佐々木聖空(千葉市立千城台西中学校出身)

6位 1年 富田 奏翔(目黒区立大島中学校出身)

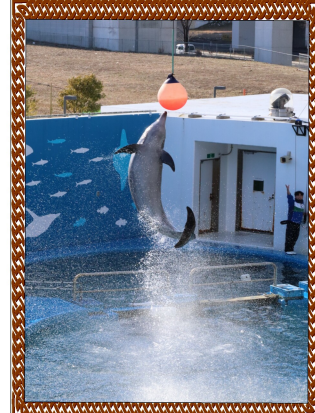
交通安全講話



5月23日(月)、於本自動車学校の小笠原心太郎さんをお招きし、交通安全講話が行われた。自転車通学者が増加傾向にある本校。学校生活に慣れ始めるこの時期に、自転車利用者の交通ルール無視や交通マナーの欠如が原因で発生する交通事故や危険・迷惑行為などを中心にお話いただいた。

また、事故を起こさないために日頃から自転車の点検を行ったり、保険に加入することの大切さも学んだ。自転車利用者に限らず、生徒たちは、交通ルールの再確認をするともに安全に対する意識を高めた。

写真部フォトギャラリー



▲3年 馬場 慈侑生(下長中学校出身)



▲3年 上村 咲(三条中学校出身)



▲3年 八木田 実咲(北稜中学校出身)



▼3年 蟹沢 愛花(第一中学校出身)



昨年度文化祭が中止となり、写真展ができなかった部員たちは、いつでも作品展ができるようにと、日々写真を撮りためている。今回はその一部を紹介。

3部リーグ前期ラウンド位位



《高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ県3部前期ラウンド》

○5月8日(日) 向陵 1-1 八高 (5-3)

〈得点〉1年 佐々木 聖空(千葉市立千城台西中学校出身)

PK 2年 徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身)

2年 細越 朝陽(第一中学校出身)

2年 山家 昌悟(平塚市立土沢中学校出身)

1年 佐々木 聖空(千葉市立千城台西中学校出身)

3年 梅内 拓真(名川中学校出身)

《県高校サッカー春季地区大会》

○5月7日(土) 向陵 0-3 八工

後期ラウンド進出

4月10日(日)～5月8日(日)までの日程で行われていたサッカー春季八戸地区大会兼県リーグ3部前期八戸地区大会が終了した。3部リーグ1位決定戦となった5月8日(日)は、1年生の佐々木聖空君が得点したが、引き分けとなりPK勝負となった。PK戦では、キーパーの中村俊太君(2年・第一中学校出身)が落ち着いたプレーで相手の4人目を止めた。決めれば勝ちとなる本校5人目はキャプテンの梅内君。最後はきっちり決め、勝利を収めた。結果3部リーグ前期1位となり、後期ラウンドへの進出が決定した。後期ラウンドは、6月19日(日)～8月21日(日)まで東西それぞれ8チームによる1回戦総当たりリーグ戦を行う。

5月26日(木)
勤労体験講座
 花壇・プランターコース

1年 外館 未有(是川中学校出身)



最初に作業で使うスコップや鎌、鍬などの道具を運びました。次に、花壇の草取りをしました。根が強く張っているものも多く、抜くのが大変でした。でも、草抜きが終わった後の達成感が凄かったです。その後は、スコップと鍬で土を耕しました。耕した後、取り切れなかった根を取り、

土をならして苗を並べました。このときは、自分から積極的に行動できたし、周りを見ながら、次やることを考えて動くことができて良かったです。友達とアイデアを出し合いながら動くのが久しぶりだったので楽しかったです。午後は、配置した苗を植えました。深すぎず、浅すぎず植えるのが少し難しかったです。その後は、花壇の空いている所に花を植えたり片付けをしました。一日、外でずっとしゃがんで作業するのは大変なことだと思いました。これからは今まで以上に感謝して生きていきたいです。

1年 山田 梅木
 (明治中学校出身)

作業の流れを聞いた後、草むしりから始めました。土が固まっているところもあり、抜くのが大変でした。その後、花の苗を並べ、休憩を挟みながら花植えまでしっかりやり終えました。苗の配置は、皆で考えて綺麗に見えるよう工夫してできました。花と花の間を開けすぎたり、狭すぎたりして難しかったです。声を掛け合いながらできました。残った花を花壇の隙間に植えるときは、花の色のバランスを気にしながら植えました。2、3年生は花の植え方がとても上手で綺麗でした。先輩の真似をしてみようと思ったものの、あまりできなかったです。次回は真似るだけでなく、そこに自分なりのやり方もプラスして皆の役に立てるように頑張りたいです。



農園コース

1年 類家 理生(第三中学校出身)



今日は草を取り、土を耕しました。その後、肥料をまいてマルチングし種を植えました。大変だったことは、支柱を立てることです。耕した土でもなかなか刺さらず何人かで協力してやりました。自分も周りの人も怪我をしないよう作業しました。畑作業が大変だということを実感しましたし、これを毎日仕事としてやっている人は凄いなと思いました。

1年 菱事 弘季(階上中学校出身)

植物を植えるのがこんなに大変だとは思いませんでした。植えるための準備がたくさんありました。鍬の使い方が分からず最初はうまくできませんでした。先輩の動きを真似してやってみると、土をうまく掘り返すことができました。マルチングは、雑草予防と熱を吸収して植物の成長を促すためのものだということを知ることができました。ナス、トマト、ジャガイモなどを植えたので、秋に自分で育てた野菜を食べるのが楽しみです。

1年 佐藤 愛瑠(湊中学校出身)

自分たちの役割は、ジャガイモの葉を取り、半分は切って断面に草木灰をつける種芋の準備でした。灰をまぶすのは腐敗防止だそうです。日差しが暑く、力仕事がたくさんあって、ついはいけなそうなのもありましたが、皆で協力し合うと何でもやり遂げられると改めて思いました。

3年 岩沢 菜々子(岐中学校出身)

本格的に畑仕事をするのが初めてでした。午前中は、雑草取りと畝づくりをしました。草の根が強く、刈るのに力が入りました。雑草ごと土も一緒に放り捨てていたら、「土も野菜を育てるために必要な栄養の一部」と先生から教えていただきました。畝づくりも真つすく行かず難しいと感じました。苗を植えられたのは、午後になってからです。何をやるにも決して楽な作業はなく、順序があり、協力し合えばできるものだと思います。



花畑・果樹園コース

1年 中村 陽征
 (白山台中学校出身)

初めに、花畑や果樹園周りの刈った草を集めました。レーキという道具を使って皆と協力して作業することができました。その後、ブルーベリーの木の周りに支柱を立てネットを囲いました。鳥から果実を守るためです。ネットの固定は体力的にかなりきつかったですが、指示された仕事に積極的に取り組むことができました。綺麗になった花畑・果樹園を見ると達成感を感じました。

2年 清水 寛仁
 (第二中学校出身)

最初に草取りをしましたが、根が張り生命力が強い草が多く苦戦しました。次に花壇から果樹園までの通路をプロックを組ませ作りしました。穴を掘り、平らにし、砂と砂利を敷く整地が大変でした。普段あまり動かないのでかなり疲れ、皆より休む時間が多くなってしまいました。片付けは協力して行うことができました。今後のさまざまな活動に向けて体力をつけようと思いました。

2年 石岡 真衣(小中野中学校出身)

昨年と同じコースですが、女子の人数が少ないので協力して花畑を完成させました。今回の体験を振り返ると「しっかり仕事ができなかった」と言えないと思います。なぜなら、休憩時間以外にも休んでしまいたい仕事をやらせてもらいました。自分から仕事をすること、協力することはできました。午後は集力を切らしてしまいました。先生から「講座だけでも、授業である」ということを言われました。仕事に置き換えたなら「勤務態度が悪い」ということです。何事も将来に繋がります。この反省点を生かして次は行動したいと思います。



八戸公園コース

3年 小笠原智也(市川中学校出身)

八戸公園コースでは、落葉掃きと草取りをしました。「見通しを持って行動する」という体験前自己課題は、あまりできなかったと言えませんが、体験中自己課題の「ほうぎの使い方を考える」は達成できたと思います。掃き始めたときは、時間をかけないと綺麗にすることができませんでしたが、後半は短時間で同じくらいの距離を綺麗にすることができたからです。また、今回の講座ではとても主体的に取り組むことができましたが、あまり協力的に動くことができなかったのも、次の講座では周りの人と協力しながら行動したいと思います。作業はとも楽しくできたので八戸公園の方に感謝して、家の庭でもやってみたいと思います。

3年 鈴木 篠(大館中学校出身)

八戸公園に作業をしに行きました。行ってまず全ての道が綺麗だということに驚きました。今回は、広場の草取りを暑い中行いました。これを毎日行うのは大変です。今日行った数時間で汗をかきました。ですが、八戸公園の皆さんは、朝早くから作業し来園するお客さんたちを迎えています。お客さんの目が届かない所まで掃除していただきました。袋詰めした雑草もたくさんありました。職員の方々にとって八戸公園が大切な場所だということが伝わります。イベントがあるときは、建物や乗り物などのメンテナンス、掃除もあると思います。今回、私たちが作業していると来園していた子供たちが楽しそうに遊んでいました。家族そろって笑顔でした。私たちも子供たちの笑顔に癒されました。幼い頃から遊んでいる子供の国。いつ行っても楽しい思い出があります。「働いている人たちはどう思っているのだろう」と幼い頃思っていた気持ちが、今回体験して分かりました。この仕事がお客さんを笑顔にする。やって良かったと思える。そして自分も笑顔になれる。将来、そう思える仕事に就きたいです。誰かの役に立てる仕事。自分も笑顔になれる仕事。今日改めて働くことの大切さを実感しました。人生の中で働く時間が一番多いです。自分が満足できる仕事を探し、笑顔で働けるよう頑張ります。

